



ポニーキャンプやビジターの乗馬を受け入れる「牧場」。地域の子供達にポニーや動物との触れ合いの場を提供し、障害児の為のポニー乗馬教室や、軽乗(アクロバットライディング)の練習も取り入れる「動物広場」などハーモニセンターの施設はバラエティに富んでいます。

誰もが馬と自然に触れ合う文化[Riding For All]を提供してまいります。



○ 藤科ポニー牧場

〒391-0213 長野県茅野市豊平字東嶽4734
TEL:0266-76-2813

○ 小貝川ポニー牧場/小貝川生き生きクラブ

〒300-1511 茨城県取手市栲木49
TEL:0297-71-6520

○ 碑文谷公園こども動物広場

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷6-9-31 碑文谷公園内
TEL:03-3714-1548

○ 水元中央公園こども動物広場(ポニースクールかつしか)

〒125-0032 東京都葛飾区水元1-19 水元中央公園内
TEL:03-3627-0745

○ 麻溝公園ふれあい動物広場

〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台2317-1
TEL:042-778-3900

○ 上千葉砂原公園ふれあい動物広場

〒124-0002 東京都葛飾区西亀有1-27-1 上千葉砂原公園内
TEL:03-3690-4460

○ 万騎が原ちびっこ動物園

〒241-0834 神奈川県横浜市旭区大池町65-1 こども自然公園内
TEL:045-351-5442

○ 板橋区立こども動物園

■ 本園
〒173-0004 東京都板橋区板橋3-50-1 東板橋公園内
TEL:03-3963-8003

■ 高島平分園

〒175-0082 東京都板橋区高島平8-24-1 徳丸ヶ原公園内
TEL:03-3932-0090

○ 海老名市動物ふれあい施設

〒243-0424 神奈川県海老名市社家4032-1 運動公園内
TEL:046-235-7321

ハーモニセンターのご案内

The Harmony Center

「思い出すだけで胸が熱くなる体験」を子供達に

ハーモニセンターのあゆみ

- 1961年** ハーモニサークル誕生
10数名の青年が集まって、東京・下目黒でボランティア・グループハーモニサークルを結成
千住、大森など都内各地で、子供会活動や養護施設訪問を実施
1971年までの10年間で参加した子どもの数は15000人を超える
- 1963年** 子供会キャラバンを実施
「青年が変われば世界が変わる」を合言葉に、全国各地を巡回
1969年まで実施
- 1964年** ハーモニセンター発足
子供会に加え、働く若い仲間作り(YHS: Youth Harmonian Society)活動も実施
専従スタッフをおく
- 1966年** ハーモニセンター専従スタッフ、金子詔一が作詞作曲したキャンブソング「今日の日はさようなら」が誕生
(2007年に文化庁と日本PTA全国協議会が日本の歌百選に選定)
- 1967年** 青少年育成国民会議に加盟
青少年育成団体として全国組織に仲間入り
- 1970年** チャーター機によるヨーロッパ40日間自己研修「FTE」(FLYING TO EUROPE)実施
往復だけは一緒の、ひとりばっこのバラバラ旅行実施
73年までの4年間に704名が参加
- 1972年** 第1回北海道とかちポニーキャンプ®実施
「親抜き、先生抜き、勉強抜き」の18泊19日
現在まで続くポニーキャンプ®のはじまり
- 1973年** 日本で初めてのポニークラブ®開設
東京・町田市郊外にて、「広〜い原っぱをポニーで駆けよう」を合言葉にスタート
- 1976年** 財団法人ハーモニセンター誕生
文部省(青少年課)の許可
親子家庭ぐるみからの献金による草の根財団の誕生
- 1977年** 藤科ポニー牧場開設(長野県茅野市)
- 1980年** 相馬ポニー牧場開設(福島県南相馬市)
- 1981年** 目黒区碑文谷公園こども動物広場運営受託
- 1982年** 葛飾区水元中央公園こども動物広場(ポニースクールかつしか)運営受託
- 1983年** ポニーキャンプ選抜チーム、天山山脈(中国)を馬で超える
中国との国際交流スタート
- 1985年** 相馬ポニー牧場で牧場生活体験留学スタート
相模原市麻溝公園ふれあい動物広場運営受託
- 1986年** 内蒙古大草原日中少年少女合同キャラバンを実施
- 1988年** 葛飾区上千葉砂原公園ふれあい動物広場運営受託(2009年まで)
- 1990年** ドイツ(シュタインフルト郡)との青少年相互交流開始
モンゴル国での大草原騎馬トレッキング開始
- 1993年** 夏のポニーキャンプでハンディキャップ児童の受入開始
モンゴル・ウランバートルにユートピア日本語学校設立
- 1996年** ユートピア日本語学校がモンゴル文化教育大学(4年生)に昇格
- 2001年** 小貝川ポニー牧場開設(茨城県取手市)
- 2002年** 愛媛県今治市野間馬ハイランド調教・飼育管理支援
- 2005年** 新潟県長岡市での小学校巡回ポニースクールスタート
- 2007年** 横浜市こども自然公園万騎ヶ原ちびっこ動物園運営受託
- 2009年** 板橋区立こども動物園 本園・分園・昆虫公園運営受託
- 2011年** 葛飾区立上千葉砂原公園ふれあいどうぶつ広場運営再受託
海老名市動物ふれあい施設運営受託
東日本大震災被災地支援活動(東北支援活動)スタート
- 2012年** ポニースクールかつしかの軽乗チームがドイツに遠征、軽乗大会に出場
- 2013年** 公益財団法人ハーモニセンターに移行
- 2014年** 河川協力団体の指名を受け、河川騎馬パトロール隊発足
ポニーライダーズカップを藤科にて開催
帯広畜産大学と共同で北海道プロジェクト開始
- 2017年** 職員数75名 保有馬頭数95頭



公益財団法人ハーモニセンター

〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内
TEL:03-3469-7691 FAX:03-3469-7714
<http://harmonycenter.or.jp>



公益財団法人ハーモニセンター

<http://harmonycenter.or.jp>



代表理事あいさつ

将来どんな道に進もうとも、子供時代、豊かな自然と広く深くたっぷりふれ合う体験を積むことは、とても大切なことです。自然とのふれ合いばかりではありません。いろんな生き方、それぞれの持ち味を生かし、いい人生を送っている、すぐれた人々と知り合いになり、その世界にふれる。これも、また、大切です。こうした体験を積むことで、子供達は、やがて、自分の内に宿るかけがえのないすばらしさに気づいていきます。

桜には桜の美しさが、コスモスにはコスモスならではの美しがあります。人間も同じです。それぞれに美しい花を咲かす力をもって生まれてきています。持って生まれた力です。だから勝手におとしめるようなことがあってはならないのです。しかし、どんなにすばらしいダイヤでも、磨かなくては、輝きません。

自分のすばらしさに気づいたとき、輝いていると実感できたとき、こころが幸せで

いっぱいになります。そしてそのうれしさを周りの人達とも分かちあいたいという気持ちにもなれます。こうした人間を回りにもふやしていきたいものです。

これまでハーモニセンターは、主に子供、若者を活動の対象としてさまざまな心楽しい活動を繰り広げてきました。これからは、もう、子供、若者に限ることなく、年齢の枠にとらわれず、いくつになっても心の若い人々、いつまでも幼子の心を大切にしたい人々と一緒に、共々磨きあい、さらなる発展を遂げて行く活動に、脱皮していきたいと思っています。



公益財団法人
ハーモニセンター
代表理事 大野重男

ハーモニセンターのプログラム

色々
あります

キャンプ



ポニーキャンプ

- 春・GW・夏・冬 ●ファミリー
- 週末

子供時代にいかに自然体験をするかが、大人になってからの人間性に大きく影響しており、「社会性」「やる気」「思いやり」等、キャンプは様々な成長をもたらします。ポニーキャンプでは、馬に乗るだけでなく、給餌、馬小屋掃除、手入れ、鞍付けまでを子供達が異年齢の集団生活の中で協力して行います。学校以外の仲間やモノを言わない馬と気持ちを通わせる中で、いかに「自分さえ良ければいい」という考えが偏っているかに気づき、他の人の喜びを自分の喜びとすることができるようになります。

自然体験キャンプ

- スキー ●スケート
- 野外 ●八ヶ岳 など

ポニーキャンプ以外のキャンプを総じて自然体験キャンプと呼んでいます。スキー・スケート・野外・八ヶ岳登山など様々な自然体験を通じて「挑戦する事」「諦めない心」「感謝する気持ち」を伸ばします。参加賞の様な安直な成功ではなく、失敗の中からの工夫や、思い通りにいかない葛藤は、出来た時に強烈な自己肯定感に姿を変えます。体験を繰り返す事で、子供達は遅くなり、物事の本質を見抜く力が身につきます。



「思い出だけで胸が熱くなる体験」を子供達に

大人になって振り返った時に『思い出だけで胸が熱くなる体験』を子供達に届けたい。「子供時代」に体にしみ込んだ経験は、将来、苦しい事に直面した時に踏ん張る土台となります。胸を熱くする体験は、安直な成功や与えられた楽しみの中ではなく、挫折からの立ち上がり様に見える景色、挑戦、失敗、工夫の中からつかんだ成果、辛いときに傍にいてくれた人がいたという記憶のなかに存在します。生涯を通じて心の中を灯す光となる経験を、子供達に。ハーモニセンターが子供達に贈る魅力の柱を以下に紹介します。



ハーモニセンターのキャンプ

キャンプは決まったお楽しみプログラムをこちらが提供し、参加者はそれを傍受するというツアーではありません。子供達は遠く親元を離れ、年齢も学校も異なる仲間と衣食住を共にしながらプログラムを経験します。プログラムの中で、気づき、経験を自ら積み上げ、少しずつ変化していく地道な繰り返しの中で自主・自立に繋がる体験を提供します。これまで1700回以上のキャンプを実施し、10万人以上の子供達が参加しました。

ポニー

公益財団法人ハーモニセンターは青少年教育や生涯教育を行う内閣府認定の団体であり、ポニーを主なパートナーとして、40年以上活動を続けてきた点に大きな特徴があります。ポニー乗馬には教育的要素が多く含まれます。意思をもつポニーには心身ともに本気で向き合いながら、自分自身とも向き合う必要があり、勇気・挑戦・思いやり・挫折・工夫・達成感・愛情などの感性が養われます。

カウンセラーと呼ばれる青年達

ポニーや、山や川などの大自然の中で、心も体も丸ごと飛び込み、好きなことを飽きるまで夢中になって向き合う子供達に「カウンセラー(青年ボランティアリーダー)」が寄り添い、挑戦する心を支えます。合言葉は「明るくタフで骨惜しみしない」。カウンセラーも、子供達と共に経験を重ね、成長していきます。



日独青少年相互交流計画

「ハーモニセンター」と「ノルトラインウエストファーレン州シュタインフルト郡青少年局」との民間レベルの交流が1990年に始まりました。両国の青少年がお互いの国を歩き、異文化を学び、国際的視野を育てることを目的とした交流事業で、現在、宮城県大崎市鳴子国際交流協会と連携、隔年の受け入れ・派遣を行っています。

モンゴル大草原騎馬トレッキングキャンプ

乗馬を楽しみ、モンゴルの大自然と馬文化にふれる交流を中心に、初心者でもとより子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が参加。乗馬力に応じて長い距離の徒歩に挑戦したり、遊牧民の方のゲルにお邪魔して現地の方との交流など日本では味わえない体験を提供します。一方、1993年に大草原の子供達のための「草原移動識字教室」を開始、同時にユートピア日本語学校を設立。現在、4年制の「モンゴル文化教育大学」に昇格。このようにモンゴル国への教育支援活動も行ってきました。



国際交流 キャンプ

Riding For All



移動乗馬教室



障害者乗馬



被災地支援



出張動物園



高齢者乗馬

など